

平成 28 年度
石綿ばく露者の健康管理に係る
試行調査（横浜市） 報告書

平成 29 年 3 月
横浜市

目 次

1	調査目的	1
2	調査実施場所	1
3	調査実施期間	1
4	調査実施方法	1
5	調査結果	4
6	平成 28 年度報告書様式	6
7	添付資料	
	別添 1 専門委員会委員名簿・指定医療機関一覧	29
	別添 2 問診票	30
	別添 3 石綿普及啓発兼試行調査案内チラシ	39

1 調査目的

環境省では、石綿のばく露歴や石綿関連疾患の健康リスクに関する実態把握を行うため、平成 18 年度から平成 26 年度において、調査への協力が得られた地方公共団体に居住していた住民等に対して、問診、胸部 X 線検査、胸部 CT 検査等を実施することにより、石綿ばく露の医学的所見である胸膜プラーク等の所見の有無と健康影響との関係に関する知見を収集してきた（横浜市においては、平成 19 年度以降実施）。

これまでの調査により一定の知見が得られたことから、平成 27 年度以降は、石綿検診（仮称）の実施を見据えたモデル事業である石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査（以下「試行調査」という。）を実施することを通じて、実施主体・既存検診（肺がん検診等）との連携方法・対象者・対象地域の考え方・検査頻度・事業に要する費用等の課題等について調査検討を行った。

2 調査実施場所

横浜市健康福祉局健康安全部保健事業課等
神奈川県横浜市中区港町 1 丁目 1 番地等

3 調査実施期間

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

4 調査実施方法

（1）調査対象者

原則として、次の①～④を満たす者を調査対象者とした。

- ① 現在横浜市に居住している者
- ② 平成元年以前に神奈川県（横浜市鶴見区）に居住していた者
または、平成元年以前に岐阜県（羽島市）に居住していた者
または、平成 2 年以前に、大阪府（大阪市、堺市、岸和田市、貝塚市、八尾市、泉佐野市、河内長野市、和泉市、東大阪市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町及び岬町）に居住していた者
または、昭和 30 年から 50 年に兵庫県（尼崎市）に居住していた者
または、過去に兵庫県（西宮市、芦屋市、加古川市）に居住していた者
または、平成元年以前に奈良県に居住していた者
または、平成 16 年以前に福岡県（北九州市門司区）に居住していた者
または、昭和 33 年から 61 年に佐賀県（鳥栖市）に居住していた者
- ③ 横浜市が検査を実施する医療機関等で検査を受けることができる者
- ④ 本調査の内容を理解し、調査の協力に同意する者

ただし、上記の条件に該当する者であっても、労働安全衛生法の石綿健康管理手帳を取得している又は交付要件に該当している者、石綿障害予防規則により職場等で石綿に関する特殊健康診断を受けることができる者、石綿関連疾患が原因で医療機関を受診している者は、継続的に石綿関連疾患に係る健康管理が行われていることから、本調査の対象外とした。

調査対象者数は 38 名であった。

（2）調査実施体制

横浜市は、環境省の委託を受けて、試行調査を実施した。

石綿ばく露者の健康管理では、質問票による石綿ばく露の聴取及び胸部 CT 検査による石綿

ばく露の評価を行った。その際、可能な限り、肺がん検診等で撮影した胸部 X 線画像を取り寄せ、読影した。その結果に基づき、調査対象者に沿った保健指導を行った。

また、読影（2 次読影）を実施するための専門家（11 名）による読影会（2 回）、及び調査報告書作成のための専門家（11 名）による専門委員会（4 回）を設置した。

（3） 調査方法

（3）－ 1．石綿ばく露者の健康管理の試行

（ア） 石綿ばく露の聴取

横浜市は、調査対象者に対し、本調査事業の説明、調査協力に対する同意をとり、調査登録を行い、質問票を用いて、横浜市の職員または横浜市より委託を受けた者が調査対象者の呼吸器疾患等の既往歴、本人・家族の職歴、喫煙の有無、石綿ばく露歴などを詳細に聞き取った。

石綿ばく露の聴取を行うにあたっては、石綿に関する健康管理等専門家会議による「石綿ばく露歴把握のための手引き～石綿ばく露歴調査票を使用するに当たって～ 平成 18 年 10 月」などを参考にした。

（イ） 石綿ばく露の評価

（イ）－ 1 胸部 CT 検査

初回受診者への石綿ばく露の聴取の結果、石綿ばく露の可能性が認められる場合には、胸部 CT 検査を実施した。2 回目以降の受診者については、調査対象者が希望する場合には、横浜市の判断により年 1 回に限り、胸部 CT 検査の対象とすることができるものとした。ただし、その際、横浜市は、胸部 CT 検査の有効性やその放射線被ばくの影響等を調査対象者に丁寧に説明を行った。

（イ）－ 2 読影

横浜市は、石綿ばく露や石綿関連疾患について十分な知識を持った専門家で構成される読影委員会（11 名）を組織し、以下に示す画像所見①～⑨の有無の確認を行った。その際、可能な限り、肺がん検診等で撮影した胸部 X 線画像を取り寄せ、読影した。なお、読影を行う際は、撮影日からなるべく間を空けずに実施するよう努めた。

画像所見

- ① 胸水貯留
- ② 胸膜プラーク（限局性の胸膜肥厚）
- ③ びまん性胸膜肥厚
- ④ 胸膜腫瘍（中皮腫）疑い
- ⑤ 肺野の間質影
- ⑥ 円形無気肺
- ⑦ 肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）
- ⑧ リンパ節の腫大
- ⑨ その他の所見（陳旧性結核病変など①～⑧以外の所見）

（ウ） 精密検査

読影の結果、石綿関連疾患（中皮腫、石綿による肺がん、著しい呼吸機能障害を伴う石綿肺、著しい呼吸機能障害を伴うびまん性胸膜肥厚）が疑われた場合、精密検査を実施した。

なお、横浜市は、調査対象者に自己負担分の費用を支払った際には、支払った内容について、独立行政法人環境再生保全機構と情報共有を行った。

(エ) 保健指導

横浜市は、調査対象者の健康管理に役立てるため、医師が診断をした後に、医師または保健師を以て、調査対象者に対する保健指導を実施した。調査対象者の健康管理を把握するために、横浜市は以下に示す項目を記載した受診カードを適宜活用した。

受診カード記載項目

- ① 氏名
- ② 住所
- ③ 問合せ先
- ④ 肺がん検診受診勧奨文
- ⑤ 肺がん検診実施機関へのお願い
- ⑥ 肺がん検診受診歴 等
- ⑦ その他

診断後の結果別保健指導

- ① 精密検査が必要とされた者
認められた所見について説明し、すみやかに医療機関を受診し、医師の指示に従うよう指導した。
- ② 所見を有しているが、精密検査の必要がないとされた者
認められた所見について説明し、直ちに医療機関を受診する必要はないが、経過観察を行うことが望ましい旨を説明した。適宜、石綿による健康リスクについて説明し、肺がん検診の受診勧奨や禁煙指導等を行った。その際、調査対象者に対して、「受診カード」を配布した。
- ③ 所見を有しない者
所見が認められないことを説明し、不安の軽減に努めた。適宜、肺がん検診の受診勧奨や禁煙指導等を行った。石綿ばく露の聴取の結果、環境ばく露の可能性が高いと思われる者や希望者に対しては、「受診カード」を交付した。

(オ) 調査対象者のフォローアップ

調査対象者のうち、「受診カード」を配布した者に対して、毎年、前年度の肺がん検診の受診状況を把握し、未受診者に受診勧奨を行った。調査対象者が肺がん検診を受診した場合には、肺がん検診の自己負担分に相当する額を委託費で負担することができるものとした。なお、試行調査で得られた情報のうち、石綿健康被害救済制度の運用に必要なものについては、独立行政法人環境再生保全機構が利用するものとした。

(カ) 経過観察

(エ) 診断後の結果別保健指導において、①と判断された者については、調査対象者の同意を得て、医療機関への照会を行い診断結果や治療経過等の把握に努めた。

なお、検査結果において石綿関連疾患が疑われる場合については、本人や家族に対し労災制度や石綿救済制度の窓口を案内し、後日認定状況の確認を行うものとした。

(3) ー 2. 効果的・効率的に健康管理を実施するための調査・検討

健康管理の試行に伴う課題の抽出

横浜市は、専門委員会にて健康管理の試行に伴う①～⑥の課題について抽出した。

- ① 実施体制に関する課題
- ② 対象者・対象地域に関する課題
 - ・周知に関する事、申込に関する事 等
- ③ 石綿ばく露の聴取に関する課題
- ④ 石綿ばく露の評価（検査）に関する課題
 - ・胸部ＣＴ検査に関する事、胸部Ｘ線画像の取寄せに関する事、読影に関する事 等
- ⑤ 保健指導に関する課題
- ⑥ その他の課題
 - ・フォローアップに関する事、受診者への支払い方法、その他

（３）－３．報告

横浜市は、石綿の健康影響に関する医学的な知見を有する専門家（11 名）により、以下の事項について結果をとりまとめ、環境省へ報告した。

報告項目

- ① 受診者数
- ② 石綿関連所見ごとの有所見者数
- ③ 石綿関連疾患の該当者数
- ④ 健康管理の試行に関する実務的な課題及び対応方策 等

（３）－４．広報活動

横浜市は、募集に関して、ホームページ、医療機関や各区福祉保健センター、図書館等へのチラシの配布、新聞へのチラシの折り込みなどの広報活動を行った。

５ 調査結果

（１）調査対象者

平成 28 年度の対象者は 38 人であった。

うち、問診を受けた者は 38 人、ＣＴ検査を受けた者は 35 人、保健指導を受けた者は 38 人であった。

（２）調査対象者 38 人のばく露歴分類

ア 直接石綿を取り扱っていた職歴のある者	20人
イ 直接ではないが職場で石綿ばく露した可能性のある者	1人
ウ 石綿を家庭内に持ち込むことによってばく露した可能性のある者	5人
エ 職域以外で石綿取扱い施設等に立ち入り経験のある者	4人
オ その他ばく露歴が特定できない者	8人

（３）調査対象者 38 人のうち、「胸膜プラーク（所見疑いを除く）」が認められた者 12 人の内訳

ア 直接石綿を取り扱っていた職歴のある者	9人
イ 直接ではないが職場で石綿ばく露した可能性のある者	0人
ウ 石綿を家庭内に持ち込むことによってばく露した可能性のある者	1人
エ 職域以外で石綿取扱い施設等に立ち入り経験のある者	2人
オ その他ばく露歴が特定できない者	0人

(4) 保健指導実施回数・内容

「公益財団法人横浜市総合保健医療財団 横浜市総合保健医療センター」のにて2回結果説明会を実施した。

- ア 保健師によるパワーポイントを使用しての集団指導 (30分)
- イ 環境再生保全機構の職員による石綿救済法の説明 (15分)
- ウ 保健師による個別指導と受診カードの配布 (1人あたり5～10分)
- エ 喫煙者へのアンケートを実施し、禁煙準備期にある者や禁煙希望者には、集団指導後に禁煙相談が出来るよう設定
- オ アンケート調査の依頼及びその回収、集計

(5) 保健指導を受けた者の中で個別指導を受けた者20名の内訳 (重複あり)

- | | |
|----------------------------|-----|
| ア 石綿関連疾患の疑いで精密検査を必要とされた者 | 2人 |
| イ 非石綿関連疾患の疑いで精密検査を必要とされた者 | 3人 |
| ウ 非石綿関連疾患の疑いで医療機関受診を勧められた者 | 2人 |
| エ 胸膜プラークが認められた者 | 12人 |
| オ 胸膜プラークが疑われた者 | 2人 |
| カ 石綿ばく露の可能性が高い者 | 6人 |
| キ 禁煙指導を希望した者 | 2人 |

(6) 受診カード配布16人の内訳 (重複あり)

- | | |
|--------------------------|-----|
| ア 胸膜プラークのある者 | 12人 |
| イ 胸膜プラーク疑いのある者 | 2人 |
| ウ 石綿関連疾患の疑いで精密検査を必要とされた者 | 2人 |
| エ 石綿ばく露の可能性が高い者 | 6人 |

6 平成28年度報告書様式

平成28年度石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査報告様式を参照。

平成28年度石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査 報告様式

表1: 平成28年度の項目別対象者数

調査対象者数 ^{※1}	38
石綿ばく露の聴取を受けた者(受診者)	38
胸部CT検査を受けた者	35
うち 肺がん検診等を受けた(胸部X線画像を読影した)者	0
うち 試行調査対象外の方法で胸部線画像を取得し、読影した者	35
保健指導を受けた者	38
平成28年度に受診カードを配布した者	16

※1 同意書取得者数

表2: 平成27年度の受診カード等[※]配布者についての平成28年度の状況

受診カード等(平成27年度配布者)	
胸部CT検査と肺がん検診を受けた者	0
胸部CT検査のみを受けた者	3
肺がん検診のみを受けた(胸部CT検査を受けなかった)者	8
胸部CT検査及び肺がん検診を受けなかった者	22
その他の健診等で胸部CT検査と胸部X線検査を受けた者	2
その他の健診等で胸部X線検査のみを受けた者	4
受診の有無を確認できなかった者	2

※ 受診カード等: 氏名、住所、問い合わせ先、肺がん検診受診勧奨文、肺がん検診実施機関へのお願い、肺がん検診受診歴が記載されているもの

表3:平成28年度 石綿ばく露の聴取を受けた者の年齢階層別人数 (単位:人)

	男性	女性	合計
40歳未満	0	0	0
40～49歳	0	1	1
50～59歳	4	2	6
60～69歳	7	5	12
70～79歳	8	6	14
80～89歳	3	1	4
90歳以上	1	0	1
合 計	23	15	38

表4:石綿ばく露の聴取を受けた者のばく露歴集計表 (単位:人)

ばく露歴 ばく露歴分類	ア.直接職歴あり	イ.間接職歴あり	ウ.家庭内ばく露あり	エ.立入・屋内環境 ばく露あり	オ.その他	小計	合計
ア	●					0	20
	●	●				0	
	●		●			0	
	●			●		0	
	●				●	12	
	●	●	●			0	
	●	●		●		0	
	●	●			●	0	
	●		●	●		0	
	●		●	●	●	2	
	●		●	●	●	3	
	●	●	●	●	●	0	
	●	●	●	●	●	0	
	●		●	●	●	1	
	●	●	●	●	●	2	
イ		●				0	11
		●	●			0	
		●		●		0	
		●	●	●	●	0	
		●	●	●	●	0	
		●		●	●	1	
		●	●	●	●	0	
ウ			●			0	5
			●	●		0	
			●		●	5	
			●	●	●	0	
エ				●		0	4
				●	●	4	
オ					●	8	8
合計※	20	3	10	11	38	38	38

※ 縦計については、重複計上により算定。

表5-1 年齢階層・性別胸部CT検査所見

(単位:人)

		合計	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上
胸部CT 受診者	合計	35	0	1	6	12	14	2	0
	男性	21	0	0	4	7	8	2	0
	女性	14	0	1	2	5	6	0	0
右綿関 連所見 (疑いを含む)実 人数	合計	14 (2) 40.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	2 (1) 33.3%	4 (0) 33.3%	7 (0) 50.0%	1 (1) 50.0%	0 (0) -
	男性	12 (2) 57.1%	0 (0) -	0 (0) -	2 (1) 50.0%	3 (0) 42.9%	6 (0) 75.0%	1 (1) 50.0%	0 (0) -
	女性	2 (0) 14.3%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	1 (0) 20.0%	1 (0) 16.7%	0 (0) -	0 (0) -
①胸水 貯留	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) -
②胸膜プ ラーク(胸 膜肥厚 斑)	小計	14 (2) 40.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	2 (1) 33.3%	4 (0) 33.3%	7 (0) 50.0%	1 (1) 50.0%	0 (0) -
	男性	12 (2) 57.1%	0 (0) -	0 (0) -	2 (1) 50.0%	3 (0) 42.9%	6 (0) 75.0%	1 (1) 50.0%	0 (0) -
	女性	2 (0) 14.3%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	1 (0) 20.0%	1 (0) 16.7%	0 (0) -	0 (0) -
③びまん 性胸膜 肥厚	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) -
④胸膜 腫瘍(中 皮腫)疑 い	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) -
⑤肺野 の間質 影	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) -
⑥円形 無気肺	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) -
⑦肺野 の腫瘍 状陰影 (肺がん 等)	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) -
⑧リンパ 節の腫 大	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) -
②胸膜プ ラーク且 つ⑤肺 野の間 質影あり	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) -

※ ()内は疑い(内数)

※ ①～⑧で複数の所見が出た者は全て計上している。①～⑧の合計は実人数とは一致しない

※ 右欄は各ばく露歴別の胸部CT受診者に対する有所見者の割合(疑いを含む)

※ 小数点以下第2位を四捨五入

※ 胸膜プラーク且つ肺野の間質影がある者について、2所見のうち、いずれかが「疑い」であれば、()の所見疑いに計上

表5-2 ばく露歴分類・性別胸部CT検査所見

(単位:人)

		合計	ア.主に 直接職歴		イ.主に 間接職歴		ウ.主に 家庭内ばく露		エ.主に 立ち入り等		オ.その他	
胸部CT 受診者	合計	35	20		1		5		4		5	
	男性	21	14		1		0		3		3	
	女性	14	6		0		5		1		2	
石綿関 連所見 (疑いを 含む)実 人数	合計	14 (2) 40.0%	10 (1) 50.0%		1 (1) 100.0%		1 (0) 20.0%		2 (0) 50.0%		0 (0) 0.0%	
	男性	12 (2) 57.1%	9 (1) 64.3%		1 (1) 100.0%		0 (0) -		2 (0) 66.7%		0 (0) 0.0%	
	女性	2 (0) 14.3%	1 (0) 16.7%		0 (0) -		1 (0) 20.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%	
①胸水 貯留	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%	
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) -		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%	
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%		0 (0) -		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%	
②胸膜ブ ラーク(胸 膜肥厚 斑)	小計	14 (2) 40.0%	10 (1) 50.0%		1 (1) 100.0%		1 (0) 20.0%		2 (0) 50.0%		0 (0) 0.0%	
	男性	12 (2) 57.1%	9 (1) 64.3%		1 (1) 100.0%		0 (0) -		2 (0) 66.7%		0 (0) 0.0%	
	女性	2 (0) 14.3%	1 (0) 16.7%		0 (0) -		1 (0) 20.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%	
③びまん 性胸膜 肥厚	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%	
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) -		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%	
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%		0 (0) -		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%	
④胸膜 腫瘍(中 皮腫)疑 い	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%	
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) -		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%	
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%		0 (0) -		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%	
⑤肺野 の間質 影	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%	
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) -		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%	
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%		0 (0) -		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%	
⑥円形 無気肺	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%	
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) -		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%	
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%		0 (0) -		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%	
⑦肺野 の腫瘍 状陰影 (肺がん 等)	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%	
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) -		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%	
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%		0 (0) -		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%	
⑧リンパ 節の腫 大	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%	
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) -		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%	
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%		0 (0) -		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%	
②胸膜ブ ラーク且 つ⑤肺 野の間 質影あり	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%	
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) -		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%	
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%		0 (0) -		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%		0 (0) 0.0%	

※ ()内は疑い(内数)

※ ①～⑧で複数の所見が出た者は全て計上している。①～⑧の合計は実人数とは一致しない

※ 右欄は各ばく露歴別の胸部CT受診者に対する有所見者の割合(疑いを含む)

※ 小数点以下第2位を四捨五入

※ 胸膜プラーク且つ肺野の間質影がある者について、2所見のうち、いずれかが「疑い」であれば、()の所見疑いに計上

表6：平成28年度に胸部CT検査を受けた者のうち、「リスク調査」または「試行調査」において胸部CT検査を受けた者

(単位：人)

	結果	「リスク調査」または「試行調査」において胸部CT検査を受けた直近の年 ^{※1}		
		H18	H19	H20
前年度等の検査結果から胸部CT検査の受診勧奨をされた者	所見 ^{※2} 有り	0	0	0
	所見無し	0	0	0
その他、本人が希望した人数	所見有り	0	0	0
	所見無し	0	0	0
計		0	0	0

「リスク調査」または「試行調査」において胸部CT検査を受けた直近の年 ^{※1}						
H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
0	0	0	0	0	4	3
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	1	0
0	0	0	0	0	5	3

※1 平成26年度リスク調査参加者は原則全員胸部CT検査受診としている。

※2 胸水貯留、胸膜プラーク、びまん性胸膜肥厚、胸膜腫瘍、肺野の間質影、円形無気肺、肺野の腫瘤状陰影、リンパ節の腫大(①～⑧)

「石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査」 実施体制及び課題と取り組み事例

実施体制

<実施体制>

1 実施担当課

横浜市健康福祉局保健事業課

2 実施人材（委託分は除く）

主担当 2.0名（うち非正規 ）

副担当 （うち非正規 ）

受付	42.0名	一人あたりの平均所要時間	15分
石綿ばく露の聴取	38.0名	一人あたりの平均所要時間	30分
胸部CT検査	36.0名	一人あたりの平均所要時間	30分
保健指導	38.0名	一人あたりの平均所要時間	22分
その他 （契約・報告書の作成等の事務）	2.0名	一人あたりの平均所要時間	16時間

2.1 実施人材（事務）に関する課題

2.1.1 実施に必要な人員の確保

取り組み事例又は対応できなかった理由

アルバイトで対応できる範囲を超えている業務が多く、それが出来る人員の確保が出来ていない。

2.1.2 新たな課題

課題	取り組み事例

実施体制

3 実施時期（募集～保健指導までの日）

平成28年8月12日

～

平成28年12月13日

募集～保健指導の実施時期の概要

4月	5月	6月

7月	8月	9月
	募集開始 8 月 12日～募集終 了 8 月30日	石綿ばく露の 聴取と検査 9 月 8、13、 15日

10月	11月	12月
石綿ばく露の 聴取と検査10 月 6、20日	・ 専門委員会 10月 7 日 ・ 保健指導 （結果説明 会）10月27日	専門委員会11 月11日

1月	2月	3月
専門委員会 1 月13日	保健指導（結 果説明会）11 月24日	保健指導（結 果説明会欠席 者向け）12月 5、6、13日
	専門委員会 2 月10日	

4 試行調査に関する委託業務

委託先	委託内容
株式会社 アド・カジエンス	石綿試行調査の周知及び石綿に関するの普及啓発のチラシのデザイン委託
横浜市総合保健医療センター	胸部X線・CT検査、一次読影（CTのみ）、疑石綿関連疾患の要精密検査時の他医療機関への情報提供
横浜労災病院 神奈川県立循環器呼吸器病センター	疑石綿疾患の精密検査、肺がん検診等胸部X線フィルムの提出

実施体制

5 事業スキーム

5.1 実施日数

(受付、石綿ばく露の聴取、胸部CT検査、肺がん検診※、保健指導まで、受診者に足を運んでもらう回数)

☐ 1日 ☐ 2日 ☐ 3日 ☐ 4日 ☐ 5日

2日

※ その他の検診等から胸部X線画像を取り寄せる場合を除く

5.2 実施項目

■ 受付

☐ 何日目の実施か

☐ 実施場所

名称：

①
②
③
④
⑤

場所の選定理由： 8月12日～8月30日まで課内にて電話、FAXで対応

※ 場所によって理由が異なる場合は、個別に記載

■ 石綿ばく露の聴取

☐ 何日目の実施か

☐ 実施場所

名称：

① 横浜市総合保健医療センター
②
③
④
⑤

場所の選定理由： 石綿聴取が出来る部屋が確保出来たため。

※ 場所によって理由が異なる場合は、個別に記載

実施体制

■ 胸部CT検査

☐ 何日目の実施か

1日目

☐ 実施場所

名称：

① 横浜市総合保健医療センター

②

③

④

⑤

場所の選定理由：

検査の設備があり、聴取と検査が同日に出来る部屋が確保出来たため。

※ 場所によって理由が異なる場合は、個別に記載

■ 保健指導

☐ 何日目の実施か（1日目～5日目）

2日目

☐ 実施場所

名称：

① 横浜市総合保健医療センター

② 横浜市役所

③

④

⑤

場所の選定理由：

聴取と検査、保健指導が同施設のため、参加者の混乱を招きにくい。欠席者は市役所に別日来庁。

※ 場所によって理由が異なる場合は、個別に記載

■ 胸部X線検査（肺がん検診等からの取り寄せ）

☐ 肺がん検診から胸部X線画像を取り寄せる場合

☐ いずれの項目と同時に実施しているか。またその理由

（受付、石綿ばく露の聴取、胸部CT検査、保健指導）

項目：

理由：

その他：

実施体制

- ☐ （同時に実施していない場合）どのタイミングで実施しているか。また、その理由

項目：	読影までに			
理由：	精密検査委託医療機関で肺がん検診を実施していた場合は、読影までに取り寄せをする。			
その他：				

- ☐ 試行調査に合わせて既存の肺がん検診のスキームのアレンジを行ったか。
行った場合は、行った内容とその理由を記載。

		行っていない
内容：		
理由：	委託医療機関が333件あり、事務手続きを行う時間がとれないため。	
その他：	2か所の精密検査委託医療機関は肺がん検診実施機関だが、実際に利用した者はいなかった。	

- ☐ その他の検診等から胸部X線画像を取り寄せる場合

- ☐ どのタイミングで実施しているか。また、その理由

	読影までに			
理由：	委託医療機関が333件あり、事務手続きを行う時間がない。 試行調査と肺がん検診は連動出来ない為、市費にて聴取・CT検査日にX線検査を実施している。			
その他：				

実施体制

5.3 事業スキームに関する課題及び取り組み事例

5.3.1 受診者の来所回数削減のための対応

取り組み事例又は対応できなかった理由
聴取と検査の日、保健指導の2日間を設定。これ以上は削減出来ず。

5.3.2 新たな課題

課題	取り組み事例
募集時に2日間参加を要件にしているが、それでも保健指導の際、欠席者が生じる。	天候不良、体調悪化等の理由あるため、別途個別面接を行う。

対象者・対象地域

<周知>

1 実施時期 平成28年8月1日 ~ 平成28年8月30日

2 実施者（複数回答可）

☐ 正職員 ☐ 非正規職員 ☐ 委託

正職員

正職員

☐ その他

3 周知方法（複数回答可）

☐ 広報誌 ☐ ホームページ ☐ チラシ ☐ 新聞折り込み

広報誌

ホームページ

チラシ

新聞折り込み

（個別）

対象者：

昨年度調査で専門委員から28年度も参加するよう言われた者

（その他）

リスク調査の時に広範囲プラークや単純プラークがあった者

4 周知に関する課題及び取り組み事例

課題	取り組み事例
石綿ばく露リスクを知らないため、申し込まない人もいる。	石綿について普及啓発を含んだ調査案内のチラシを作成した。
申込者が減少している。	次年度に向け広報方法を検討（広報掲載欄、公共交通機関の電光掲示利用等）。
周知期間が短い。	委託先と相談し周知期間を長くするよう検討。

対象者・対象地域

<申し込み>

1 実施時期 平成28年8月12日 ~ 平成28年8月30日

2 実施者（複数回答可）

☐ 正職員 ☐ 非正規職員 ☐ 委託

正職員

正職員

3 実施方法（複数回答可）

☐ 電話 ☐ FAX ☐ 郵便 ☐ インターネット ☐ 窓口

電話

FAX

☐ その他

4 申し込み方法に関する課題及び取り組み事例

課題	取り組み事例
申込時にどこまで詳細を聞くか。	専門委員会で検討。不安の解消も目的なので申込時にあまり切らないものとする。
周知から申込期間が短い。	委託先と相談し申込期間を長くするように検討。
若年者（40歳前後）の申込みがあった場合。	専門委員会で検討。個別対応し、ばく露リスクと被ばくリスクを伝え本人に選択してもらう。

石綿ばく露の聴取

1 実施時期（複数回答可）

☐ 決められた日 ☐ 受診者任意の日

決められた日

2 実施者

☐ 事務（☐ 正規 ☐ 非正規 ☐ 委託） ☐ 保健師（☐ 正規 ☐ 非正規 ☐ 委託）

☐ 看護師（☐ 正規 ☐ 非正規 ☐ 委託） ☐ 医師（☐ 正規 ☐ 非正規 ☐ 委託）

☐ その他（ ）（☐ 正規 ☐ 非正規 ☐ 委託）

(その他)	保健師	正規		
	保健師	非正規		
	保健師	非正規		

3 石綿ばく露の聴取に関する課題及び取り組み事例

3.1 石綿ばく露の記憶が曖昧なため、聴取が難しい場合の対応

取り組み事例又は対応できなかった理由
リスク調査や27年度試行調査参加者は過去の記録を参考にした。

3.2 新たな課題

課題	取り組み事例
石綿取扱い業務の内容の聞き取りが困難。	石綿に関する職業チェック表を利用。

石綿ばく露の評価（検査）

<胸部CT検査>

1 実施方法

1.1 実施日（複数回答可）

☐ 集団（決められた日） ☐ 個別（任意で受診できる日）

（場所の選択）

集団

不可

（場所の選択）

1.2 画像の形式（複数回答可）

☐ フィルム ☐ デジタル ☐ 確認困難 ☐ その他（ ）

フィルム

（その他）

2 胸部CT検査に関する課題及び取り組み事例

2.1 医療機関の確保

取り組み事例又は対応できなかった理由

27年度と同様の医療機関のため問題なし。

2.2 新たな課題

課題	取り組み事例
フィルムの保管場所に限りがある。	デジタル読影への変更を検討。

石綿ばく露の評価（検査）

＜胸部X線画像の取り寄せ＞

1 肺がん検診からの取り寄せ

1.1 肺がん検診機関からの取り寄せ方法

■ 依頼方法

- ☐ 自治体が肺がん検診機関に依頼 ☐ 受診者本人が肺がん検診機関に依頼
☐ 胸部CT検査機関と肺がん検診実施機関が同一のため、取り寄せ依頼が発生しない
☐ その他

（その他）

自治体が医療機関から取り寄せ

■ 読影先への胸部X線画像の送付方法（取り寄せ依頼が発生する場合）

- ☐ 肺がん検診機関から読影先に送付 ☐ 本人が読影先に送付または持参
☐ その他

（その他）

医療機関等から読影先に送付

■ 胸部CT検査機関と肺がん検診実施機関を同一の機関で行う事が可能か。

（取り寄せが発生する場合）

- ☐ 可 ☐ 不可

不可

その理由： 胸部CT検査機関が肺がん検診実施機関ではないため。

（可能な場合は、可能であるが行わない理由。不可能な場合は不可能な理由）

■ 肺がん検診の実施部署

- ☐ 試行調査実施部署と同じ ☐ 試行調査実施部署と別

試行調査実施部署と別

1.2 肺がん検診の実施日

- ☐ 集団（決められた日） ☐ 個別（任意で受診できる日）

（場所の選択）

集団及び個別

可

1.3 肺がん検診の撮影条件（複数回答可）

※ 直接、間接が混在していることは確認できるが、全てを把握する事が実務上困難な場合は、直接撮影・間接撮影・確認困難それぞれ選択。

- ☐ 直接撮影 ☐ 間接撮影 ☐ 確認困難 ☐ その他（ ）

直接撮影

間接撮影

（その他）

石綿ばく露の評価（検査）

1.4 肺がん検診の画像の形式（複数回答可）

☐ フィルム ☐ デジタル ☐ 確認困難 ☐ その他（ ）

※ フィルム、デジタルが混在していることは確認できるが、全てを把握する事が実務上困難な場合は、フィルム・デジタル・確認困難それぞれ選択。

デジタル

フィルム

（その他）

2 その他の検診からの取り寄せ

2.1 その他の検診からの取り寄せ方法

■ 依頼方法

☐ 自治体が医療機関等に依頼 ☐ 受診者本人が医療機関に依頼
☐ その他

（その他）

自治体が医療機関に依頼

■ 読影先への胸部X線画像の送付方法（取り寄せ依頼が発生する場合）

☐ 医療機関等から読影先に送付 ☐ 本人が読影先に送付または持参 ☐ その他

（その他）

医療機関等から読影先に送付

3 胸部X線画像取り寄せに関する課題及び取り組み事例

3.1

肺がん検診等との連携によって、個々の医療機関との契約等を行う手続きが発生したことによる事務量増加への対応

取り組み事例又は対応できなかった理由

委託医療機関が333件あり事務量が過大のため対応出来ず。集団検診も行っているが受付後、すぐに定員となる。新たに試行調査用に枠を拡大する事も人件費や他事業の業務量から困難。

3.2 確実な胸部X線画像取り寄せに関する対応

取り組み事例又は対応できなかった理由

1件取り寄せがあったが、精密検査委託医療機関であり、委託の仕様に含まれているためスムーズだった。しかし、個別検診を受診した場合、取り寄せの契約を各医療機関と行わなければならない、読影までに取り寄せが間に合わない可能性が高い。

石綿ばく露の評価（検査）

3.3 新たな課題

課題	取り組み事例
肺がん検診からの画像を取り寄せた場合、肺がん検診の読影の対応中であると、石綿の読影会に間に合わない事が危惧される。	委託医療機関以外の肺がん検診画像を取り寄せしていないため分からず。

<読影>

1 実施方法（複数回答可）

☐ 胸部CT検査実施医療機関
 ☐ その他の医療機関
 ☐ 読影委員会の設置
 ☐ その他

胸部CT検査実施医療機関

読影委員会の設置

2 読影の実施に関する課題及び取り組み事例

2.1 石綿関連所見/疾患に詳しい医師の不足への対応

取り組み事例又は対応できなかった理由
石綿関連所見／疾患に詳しい医師に読影を依頼。

2.2 新たな課題

課題	取り組み事例
フィルム読影のためのデジタル対応が出来ていない。	デジタル対応で読影会が開催できるよう、機材の調達等を検討。

保健指導

<保健指導>

1 実施時期（複数回答可）

☐ 決められた日 ☐ 任意で受診できる日

（場所の選択）

（場所の選択）

決められた日
不可

2 実施者（複数回答可）

☐ 保健師（☐ 正規 ☐ 非正規 ☐ 委託） ☐ 医師（☐ 正規 ☐ 非正規 ☐ 委託）
☐ その他（ ）（☐ 正規 ☐ 非正規 ☐ 委託）※ その他は職種を記載

（その他）	保健師	正規	正規	
	保健師	非正規		
	事務	正規		

3 実施方法

☐ 個別 ☐ 個別と集団 ☐ その他

	個別と集団
（その他）	
（具体的な対象者）	
個別	石綿関連所見・疾患がある者、非石綿所見・疾患がある者、高濃度ばく露が考えられる者、喫煙者。
集団	全員
その他	

4 保健指導の実施に関する課題及び取り組み事例

4.1 保健指導充実のための取り組み事例

取り組み事例又は対応できなかった理由
石綿救済法を適切に説明するために環境再生保全機構の職員に講義を依頼した。

保健指導

4.2 新たな課題

課題	取り組み事例
非石綿所見がある者も一定数おり個別相談者が多くなった場合、待ち時間が長くなる。	保健師のアルバイトを増やす。看護師も対応可としていく。

その他

<フォローアップ>

1 受診カード配布者に対する肺がん検診でのフォローアップ

1.1 実施方法（受診カード配布者の肺がん検診受診の把握）（複数回答可）

☐ 電話 ☐ FAX ☐ 郵便 ☐ E-mail ☐ その他（ ）

電話
郵便

（その他）

--

1.2 受診カード配布者に対する肺がん検診でのフォローアップに対する課題

課題	取り組み事例
平成27年度受診カード配布者41人の中、肺がん検診受診者9人、受診率22%と低い。参考：国民生活基礎調査H25横浜市の肺がん受診率37.6%。	手紙や郵送時に肺がん検診の必要性や受診方法を再度伝える。
受診カードが十分に活用出来ていない。	要検討。
肺がん検診委託医療機関は、石綿に精通している医師が不十分。	石綿所見等がある者に対してのフォローが肺がん検診でよいのか環境省も含め検討。

2 要精密検査の方の受診勧奨や結果の把握（複数回答可）

☐ 電話 ☐ FAX ☐ 郵便 ☐ E-mail ☐ その他（ ）

電話
郵便

（その他）

--

2.1 要精密検査の方の受診勧奨や結果の把握についての課題

課題	取り組み事例
精密検査結果は医療機関から1回文書で届くが、その後の診断名や経過などが不明。	本人に複数回、連絡し状況を聞き取った。今後、回答文書を予め作成、医療機関が文書料を求めた際に支払が出来る体制を環境省も含め検討。

その他

＜受診者への支払い方法＞

1 肺がん検診の自己負担分の支払い

1.1 支払い方法

☐ 償還払い ☐ チケット ☐ その他（ ）

償還払い

（その他）

1.2 肺がん検診の自己負担分の支払い方法に関する課題

課題	取り組み事例
要綱作成し、結果説明会で説明しているが、現在までに利用者なし。	手続きが煩雑だが償還額はわずかであるため利用する人がいないのではないか。

2 精密検査の自己負担分の支払い方法

2.1 支払い方法

☐ 償還払い ☐ チケット ☐ その他（ ）

（その他）

委託医療機関で受診したため、参加者が直接支払いを生じることはなし。

2.2 精密検査の自己負担分の支払い方法に関する課題

課題	取り組み事例
リスク調査の時に自己負担が発生した事例あり。	最終的には医師の判断により検査が決まることを事前説明で徹底している。

その他

＜その他＞

1 その他試行調査の実施に伴う課題及び取り組み事例

課題	取り組み事例
調査を知るきっかけは、新聞チラシの折り込みが最も多いが、新聞を取っていない人や、他区に転居した人への情報が不十分である。	広報の掲載欄を大きくする、公共交通機関の電光掲示板の利用、タウン誌の掲載依頼。

専門委員会委員名簿

(敬称略・五十音順)

	氏名	
1	今坂 圭介	(社) 済生会横浜市東部病院呼吸器内科 医員
3	上原 隆志	独立行政法人労働者健康安全機構 関東労災病院 健康診断部
4	小原 一葉	自衛隊横須賀病院 検査研究課 課長
5	工藤 誠	公立大学法人横浜市立大学附属 市民総合医療センター 呼吸器病センター 部長・准教授
6	篠原 岳	神奈川県立循環器呼吸器病センター 呼吸器内科医長
7	清水 邦彦	(社) 済生会横浜市東部病院 呼吸器内科部長
8	高山 重光	管工業健康保険組合健康管理センター 所長
9	野田 和正	公益財団法人 神奈川県予防医学協会 中央診療所 がん予防医療部長
10	三浦 博太郎	横須賀市立うわまち病院 呼吸器科 顧問
11	森永 謙二	(独) 環境再生保全機構 石綿健康被害救済部 顧問医師

指定医療機関一覧

	医療機関名	C T検査	精密検査
1	公益財団法人 横浜市総合保健医療財団 横浜市総合保健医療センター	○	
2	独立行政法人 労働者健康安全機構 横浜労災病院		○
3	地方行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立循環器呼吸器病センター		○

石綿試行調査 問診票

<調査の目的>

一般環境を経由した石綿ばく露による健康被害の可能性があったとの報告があった地域において、石綿ばく露の可能性のあったと申し出た方を対象として、石綿健康相談の実施を見据えたモデル事業である石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査を実施することを通して、実施主体・既存検診（肺がん健診等）との連携方法・対象者・対象地域の考え方・検査頻度・事業に要する費用等の課題等について調査検討を行うものです。

※この調査は、環境省の委託を受けて横浜市が実施しています。御記入いただきました個人情報、当試行調査のみに利用し他に流用することはいたしません。

問診日	
問診者	

※太枠のみ記載してください。

環境ID	—
------	---

フリガナ		大・昭・平
氏名	生年月日	年 月 日 (歳)
現住所	〒 — 横浜市	性別 男 ・ 女 電話番号 () — 携帯電話番号 () —

あてはまる□にレ印をつけてください。

1. この調査を受ける理由を選択してください。（複数回答可）

- (1) ☐ 自分が石綿を扱う会社に勤務し、直接石綿を扱う作業を行っていた。
- (2) ☐ 自分が石綿を扱う会社に勤務していたが、直接石綿を扱う作業はしていない。
(事務や経理などの石綿を扱わない作業を担当していた。)
- (3) ☐ 家族が石綿を扱う仕事や日曜大工をしていた。
- (4) ☐ 石綿取扱施設や吹き付け石綿のある倉庫等への立入経験がある。
- (5) ☐ 石綿取扱工場周辺に居住・通学・通勤をしていた。
- (6) ☐ その他(他に受診理由があれば記載してください。)

()

2. 現在までに、肺・呼吸器の病気にかかったことがありますか。

- (1) ☐ 現在ある ①いつ頃から()
②治療している病院名()
③病名にチェックしてください。
- 1 ☐ 肺結核 4 ☐ 慢性気管支炎 7 ☐ 肺気腫 10 ☐ その他の呼吸器の病気
2 ☐ 結核性胸膜炎 5 ☐ じん肺(石綿肺) 8 ☐ 原因不明の胸膜炎 ()
3 ☐ 肺がん 6 ☐ 間質性肺炎(肺線維症) 9 ☐ 原因不明の胸水

(2) ☐ 以前にあったが、今は治っている。

- ①いつから、いつまで()
②治療した病院名()
③病名にチェックしてください。
- 1 ☐ 肺結核 4 ☐ 慢性気管支炎 7 ☐ 肺気腫 10 ☐ その他の呼吸器の病気
2 ☐ 結核性胸膜炎 5 ☐ じん肺(石綿肺) 8 ☐ 原因不明の胸膜炎 ()
3 ☐ 肺がん 6 ☐ 間質性肺炎(肺線維症) 9 ☐ 原因不明の胸水

(3) ☐ なし

3. 現在、肺・呼吸器に関して何か症状がありますか。

(1) ☐ある ①いつ頃から()

②症状は(発熱 ・ せき ・ 呼吸困難 ・ 胸痛 ・ その他())

(2) ☐なし

4. 現在、肺・呼吸器以外の病気で病院へ通院していますか。

(1) ☐ いる

①病名	(例) 高血圧		
②病院名	(例) 石綿診療所		
③通院科名	(例) 内科		
④主治医名	(例) 横浜太郎先生		
⑤通院頻度	(例) 月2回		

(2) ☐ いない

5. 家族で石綿関連疾患にかかった人はいますか。

(1) ☐ ある

① 誰が()

② どのような病気(中皮腫 ・ 肺がん ・ 石綿肺 ・ びまん性胸膜肥厚 ・ その他()

③ いつ頃から()

④ 通院していた病院名()

(2) ☐ なし

(3) ☐ わからない()

6. 喫煙の有無

(1) □現在、毎日吸っている。

① 1日平均 ()本 ②()歳～ 現在 ()年間

(2) □過去に吸っていた。

① 1日平均 ()本 ②()歳～()歳 ()年間

(3) □普段は吸わないが稀に吸うことがある。

① ひと月に ()本 ②()歳～()歳 ()年間

(4) □吸わない。

(5) □同居者に吸っている方がいる。(吸っている人：)

7. 胸部X線検査受診の有無	☐ 無 ☐ 有 : 時期(年 月ごろ)・医療機関名()
(1年程度前まで)	結果 ☐ 異常なし ☐ 異常あり(疾患名)
胸部CT検査受診の有無	☐ 無 ☐ 有 : 時期(年 月ごろ)・医療機関名()
(1年程度前まで)	結果 ☐ 異常なし ☐ 異常あり(疾患名)

8. その他石綿ばく露があったと思われる時の周辺環境など、わかることがあれば具体的に記入してください。

9. 出生から現在までの居住歴を記載してください。

※実際に住んでいた場所を、○県○市○町○番地まで詳しく記載してください。

※場所が具体的に分からない場合については、分かる範囲で記載してください。

例えば、過去に、○県□□市△△町○ー○に居住していたが、□□市までしか分からなかった場合などは、場所が分かるような地理的な情報は出来るだけ記載してください。（住所は□□市までしか分からないが、家は●●小学校の北側で■■川の真横にあった。また、△△郵便局が真横にあった、等）

居住した時期	住所	備考
昭和・平成 年 月～ 年 月		
昭和・平成 年 月～ 年 月		
昭和・平成 年 月～ 年 月		
昭和・平成 年 月～ 年 月		
昭和・平成 年 月～ 年 月		

10. 通学歴を記載してください。

※学校の所在地は、出来る限り、○県○市○町○番地○まで詳しく記載してください。

通学した時期	学校名	所在地	備考
昭和・平成 年 月～ 年 月			
昭和・平成 年 月～ 年 月			
昭和・平成 年 月～ 年 月			
昭和・平成 年 月～ 年 月			
昭和・平成 年 月～ 年 月			
昭和・平成 年 月～ 年 月			

11. 職業歴をすべて記載してください。

学生時代のアルバイトの短期間の職業歴なども含めて、職業歴が「あり」もしくは「なし」に○を付けてください。

職業歴	あり	なし
-----	----	----

●職業歴が「あり」の場合は、下に職業歴を、学生時代のアルバイトなどの仕事も含めて記載してください。
 ※会社名は覚えているが所在地を覚えていない場合、会社名の所在地について、〇〇市等分かる範囲の住所を記載してください。P. 6～9もあわせてご記入下さい。
 ※仕事の内容で石綿を使っていないことが明らかであると考えられる場合、「仕事の内容」欄に、『石綿不使用であるが、仕事の内容は〇〇』と記載してください。

従事した時期	会社名	所在地	仕事の内容	問診者備考欄
昭和・平成 年 月 ー 年 月				
昭和・平成 年 月 ー 年 月				
昭和・平成 年 月 ー 年 月				
昭和・平成 年 月 # 年 月				
昭和・平成 年 月 ー 年 月				
昭和・平成 年 月 ー 年 月				
昭和・平成 年 月 ー 年 月				

12. 家族の石綿取り扱い職業歴を記載してください。

自分と同居していた家族が、石綿を取り扱っていた職業歴がある場合、記載してください。
 仕事で石綿を取り扱っていないことが明らかである場合は、記載は不要です。

続柄	同居していた期間	会社名	所在地	石綿の扱い時期	問診者備考欄
	昭和・平成 年 月 ー 年 月				
	昭和・平成 年 月 ー 年 月				
	昭和・平成 年 月 ー 年 月				
	昭和・平成 年 月 ー 年 月				
	昭和・平成 年 月 ー 年 月				
	昭和・平成 年 月 ー 年 月				

13. 家庭生活等について記載してください。(複数回答可)

(1) ☐ 石綿製品の製造加工作業や内職が自宅であった。	年～	年	通算	年
(2) ☐ 家族が石綿関連の仕事についており、 道具や作業着、マスク等を家に持ち帰ったことがある。	年～	年	通算	年
(3) ☐ 家庭で石綿製品を使って日曜大工等をしたことがある。	年～	年	通算	年
(4) ☐ 石綿工場・鉱山の近くに住んでいたたり、遊んでいたことがある。 (都道府県名・市町村名)	年～	年	通算	年
(5) ☐ 造船所の近くに住んでいたたり、遊んでいたことがある。 (都道府県名・市町村名)	年～	年	通算	年
(6) ☐ 建築材料の置場の近くに住んでいたたり、遊んでいたことがある。 (都道府県名・市町村名)	年～	年	通算	年
(7) ☐ 自動車修理工場の近くに住んでいたたり、遊んでいたことがある。 (都道府県名・市町村名)	年～	年	通算	年
(8) ☐ 幹線道路や大きな交差点の近くに住んでいたことがある。 (都道府県名・市町村名)	年～	年	通算	年
(9) ☐ 吹きつけ石綿のある建物の部屋で、過ごしたことがある (具体的な場所)	年～	年	通算	年
(10) ☐ いずれもない				
(11) ☐ わからない				

* 「11 職業歴をすべて記載してください。」 に記載した方のみチェックして下さい。

職歴に関するチェック項目

【業種】

鉱業

- 1 ☐ 石綿鉱業
2 ☐ その他の鉱業

建設業

- 3 ☐ 石綿含有製品を取り扱う作業
4 ☐ 石綿含有製品の近傍で行うその他の作業
5 ☐ その他の作業

製造業

- 6 ☐ 石綿製品製造業
7 ☐ 清酒製造業
8 ☐ 化学工業
9 ☐ 石油製品・石炭製品製造業
《 窯業・土石製品製造業 》
10 ☐ ガラス・同製品製造業
11 ☐ セメント・同製品製造業
12 ☐ 建設用粘土製品製造業(陶磁器製を除く)
13 ☐ 陶磁器・同関連製品製造業
14 ☐ 鉄鋼業
15 ☐ 非鉄金属製造業
(銅・アルミニウム・鉛などの板・合金などを製造)
16 ☐ 金属製品製造業
17 ☐ 一般・輸送用機械器具製造業
18 ☐ 造船業
19 ☐ 食料品製造業
20 ☐ 繊維工業
21 ☐ その他の製造業

電気・ガス・熱供給・水道業

- 22 ☐ 配管・配線取扱い業
23 ☐ 電気業
24 ☐ ガス供給業
25 ☐ 熱供給業
26 ☐ 水道業

運輸業

- 27 ☐ 鉄道業
28 ☐ 道路貨物運送業
29 ☐ 水運業
30 ☐ 倉庫業
31 ☐ 運輸に附帯するサービス業

医療・福祉

- 32 ☐ 医療業

サービス業

- 33 ☐ 廃棄物処理業
34 ☐ 自動車整備業
35 ☐ 機械等修理業
36 ☐ その他のサービス業

37 ☐ 解体業

38 ☐ その他

(具体的に:)

39 ☐ 不明

40 ☐ なし

【仕事内容】

- 1 ☐ 石綿鉱山での作業、石綿製品の製造に関わる作業
- 2 ☐ 石綿や石綿含有岩綿等の吹きつけ・貼りつけ等作業
- 3 ☐ 石綿原綿または石綿製品の運搬・倉庫内作業
- 4 ☐ 配管・断熱・保温・ボイラー・築炉関連作業
- 5 ☐ 造船所内の作業(造船所における事務職含めた全職種)
- 6 ☐ 船に乗り込んで行う作業(船員 その他)
- 7 ☐ 建築現場の作業(建築現場における事務職含めた全職種)
- 8 ☐ 解体作業(建築物、工作物、石綿含有製品等)
- 9 ☐ 港湾での荷役作業
- 10 ☐ 発電所・変電所・その他電気設備での作業
- 11 ☐ 鉄鋼所または鉄鋼製品製造に関わる作業
- 12 ☐ 耐熱(耐火)服や耐火手袋等を使用する作業
- 13 ☐ 自動車・鉄道車両等を製造・整備・修理・解体する作業
- 14 ☐ 鉄道等の運行に関わる作業
- 15 ☐ ガラス製品製造に関わる作業
- 16 ☐ 石油精製工場、化学工場内の精製・製造作業や配管修理等の作業
- 17 ☐ 清掃工場または廃棄物の収集・運搬・中間処理・処分の作業
- 18 ☐ 電気製品・産業用機械の製造・修理に関わる作業

【仕事内容 続き】

- 19 ☐ レンガ・陶磁器・セメント製品製造に関わる作業
- 20 ☐ 吹きつけ石綿のある部屋・建物・倉庫等での作業(教員 その他)
- 21 ☐ エレベーター製造または保守に関わる作業
- 22 ☐ ランドリー・クリーニングに関わる作業
- 23 ☐ ガスマスクの製造に関わる作業
- 24 ☐ 上下水道に関わる作業
- 25 ☐ ゴム・タイヤの製造に関わる作業
- 26 ☐ 道路建設・補修等に関わる作業
- 27 ☐ 映画放送舞台に関わる作業
- 28 ☐ 農薬、バーミキュライト等を扱う作業
- 29 ☐ 酒類製造に関わる作業
- 30 ☐ 消防に関わる作業
- 31 ☐ 歯科技工に関わる作業
- 32 ☐ 金庫の製造・解体に関わる作業
- 35 ☐ いずれもない
- 36 ☐ 不明(忘れた・覚えていない)

【仕事で取り扱った材料・製品】

- 1 ☐ 石綿原綿(わた・繊維)
- 2 ☐ 石綿吹きつけ材
- 3 ☐ 石綿フェルト
- 4 ☐ 石綿保温材・煙突材
- 5 ☐ 石綿含有屋根材、スレート
- 6 ☐ 石綿紙
- 7 ☐ 石綿セメント管・石綿パイプ
- 8 ☐ 石綿含有ボード(外壁材・内装材)
- 9 ☐ 石綿パッキング・ガスケット
- 10 ☐ 石綿織物・布・ひも・テープ・リボンなど
- 11 ☐ 石綿含有塗料、石綿含有シーリング材、石綿含有接着剤
- 12 ☐ 石綿含有摩擦材(ブレーキパッドなど)
- 13 ☐ その他の石綿製品
- 14 ☐ いずれもない
- 15 ☐ わからない

【職場のそばでの作業の有無】

- 1 ☐ 石綿含有製品(チューブ・パイプ・板・ボール紙・断熱材など)を切断、取付け、取外したりする
- 2 ☐ 溶接
- 3 ☐ 支柱・隔壁・ガード(garder)に耐火塗装をおこなったり、はがしたりする。
- 4 ☐ その他()
- 5 ☐ 不明
- 6 ☐ なし

【仕事で頻繁に出入りしていた場所】

- 1 ☐ 倉庫、車庫
- 2 ☐ 部材置き場 (どこの)
- 3 ☐ 配管・配線の現場 (どこの)
- 4 ☐ 船体 (どこの)
- 5 ☐ その他()
- 6 ☐ 不明
- 7 ☐ なし

【職場に吹き付け石綿の部屋の有無】

- 1 ☐ ある
- 2 ☐ ない
- 3 ☐ 不明

【会社で労災認定の有無】(ある場合は認定年月日)

- 1 ☐ ある(認定年月日 年 月 日)
- 2 ☐ ない
- 3 ☐ 不明

平成
28年度

石綿(アスベスト)検診申込書

(石綿試行調査)

①下記の太枠をご記入ください

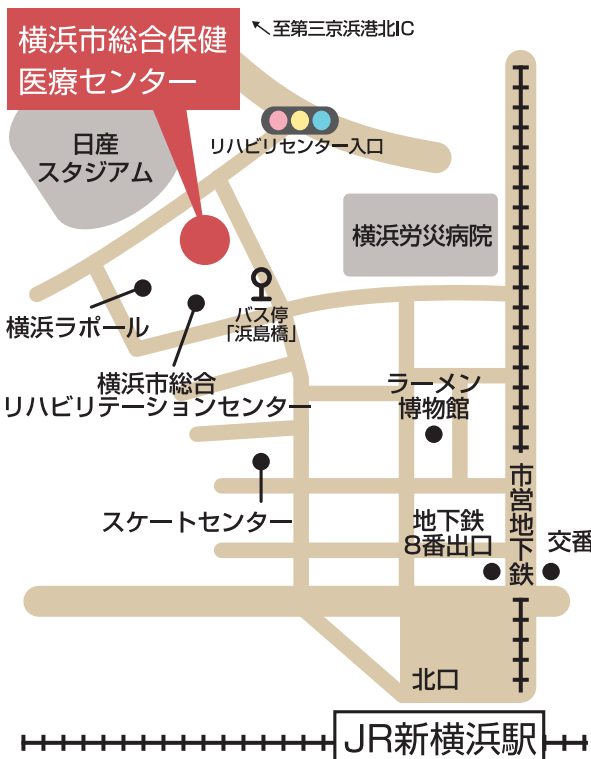
ふりがな	
氏 名	
年 齢	歳
電話番号 (屋中連絡取りやすい番号)	- -
住 所	〒 - 区 横浜市 区
対象地域の居住歴	記載例: 昭和30年から昭和60年まで 鶴見区に居住

②下記の太枠の「希望欄」に**第1希望～第3希望の番号**をご記入ください。
「問診・検査」と「結果説明会」の、**2日間**お越し頂きます。
時間はいずれも概ね午後1時から午後4時の内、1時間程度です。
決定後、詳細なお知らせをお送りします。

希望欄	問診・検査	結果説明会	会 場
	9月 8日(木)	10月27日(木)	横浜市 総合保健医療センター ●JR横浜線又は市営地下鉄 「新横浜駅」から徒歩約15分 ●新横浜駅から 市営バス300系統 「浜島橋」下車徒歩1分 ●第三京浜港北ICから車で 約5分 (地下に無料駐車場あり)
	9月13日(火)		
	9月15日(木)		
	10月 6日(木)	11月24日(木)	※但し、鶴見川遊水池の貯水施設となっ ているため、豪雨時には、冠水する可能性が あります。駐車場の冠水、盗難、火災、交通 事故等の責任は、本市、横浜市総合保健医 療センターでは負いかねます
	10月13日(木)		
	10月20日(木)		

石綿試行調査(石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査)は、本市が環境省の委託を受け、石綿取扱い施設周辺に居住していた方等の不安を解消する目的で実施しています。

横浜市総合保健医療センターの地図
住所(横浜市港北区烏山町1735)



いし わた

石綿(アスベスト)検診のご案内

無料

石綿試行調査

石綿を吸い込むと、30～40年後に肺がん等になる可能性があります
そのため、次の方に特にお勧めします

- ☒ 石綿の吸い込み(ばく露)があった方
- ☒ 石綿工場等の近隣に住んでいた方

なぜ、検診を受けるとよいのか?

病気の早期発見、救済制度を知ることが出来る

ぜひ、今回の検診をご活用ください!

対 象 者 現在、横浜市にお住まいの方で、下記のいずれかに当てはまる方

- ☒ 平成元年までに横浜市鶴見区にお住まいだった方
- ☒ 過去に次の市町村にお住まいだった方(詳細な地域や居住期間についてはお問合せください)
岐阜県(羽島市)、大阪府、兵庫県(尼崎市、西宮市、芦屋市、加古川市)、
奈良県、福岡県(北九州市門司区)、佐賀県(鳥栖市)

注意:石綿に関する労災補償や健康管理手帳の交付を受けられた方、石綿関連疾患が原因で医療機関を受診している方は対象外です。

内 容 ①問診・検査(胸部X線、胸部CT検査)
②結果説明会

注意:「①問診・検査」と「②結果説明会」は別日になります。2日間お越しいただける方のみ、お申込可能です。
注意:この検査は原則一人1回です。

実 施 日 P.4参照 **定 員** 各日12人(先着順)

場 所 横浜市総合保健医療センター(地図はP.4参照)

申込期間 平成28年8月12日(金)～8月30日(火) 平日午前9時～午後5時

申込方法 ①電話 **045-671-2482** ②FAX **045-663-4469**(申込書はP.4参照)

問 合 せ 横浜市健康福祉局 保健事業課 公害保健担当(上記申込方法と同じ番号)

いしわた 石綿(アスベスト)の基礎知識



Q1. 石綿(アスベスト)とは何ですか？

A 「石綿」(アスベスト)とは、天然の鉱物です。

熱や摩擦に強く、丈夫なため、以前は、建材のほか、自動車のブレーキ、ビニール床タイルなど、様々なものに使われてきました。しかし、肺がんや中皮腫(※)を発症する発がん性が問題となり、現在では、新たな石綿製品などの製造・使用等が禁止されています。

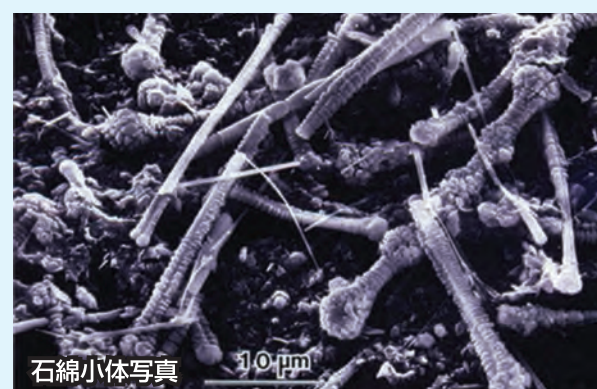
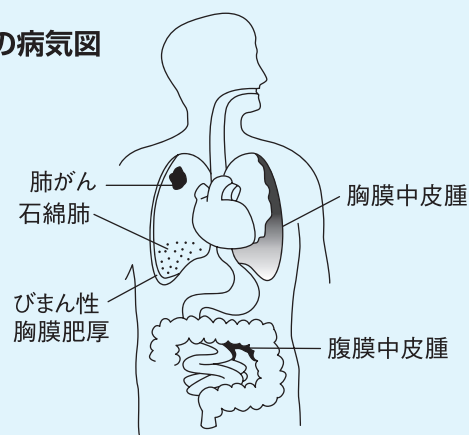
石綿の種類と発がん性



Q2. 石綿による健康被害はありますか？

A 石綿はとても細い繊維で、肉眼で見ることは出来ません。石綿の線維を吸い込み、長い間肺の中に滞留すると、肺がんや中皮腫など病気を引き起こす可能性があります。石綿を吸い込んでから発症するまで、30年～40年と潜伏期間が長いことが特徴です。

石綿原因の病気図



石綿小体写真

出典: 独立行政法人環境再生保全機構発行 石綿と健康被害

Q3. どの程度の石綿を吸い込んだら発病しますか？

A 石綿を吸い込んだ量と肺がんや中皮腫などの発病との間には、関係が認められていません。しかし、現時点では、どれくらい以上の石綿を吸ったら、中皮腫になるか、などは明らかではありません。

Q4. 石綿はどのような場所に使用されていましたか？

A 大きくは石綿工業製品と建材製品に分けられ、その8割以上は建材製品です。

石綿を使った建材製品は1955年ごろから使われ始め、1960年代の高度成長期に多く使用されました。建材(吹き付け材、保温・断熱材、スレート材など)、摩擦材(自動車のブレーキなど)、シール断熱材といった様々な製品に使われていました。



出典: 独立行政法人環境再生保全機構発行 石綿と健康被害

Q5. 石綿を吸い込んだ可能性がある人とは？

A 石綿を吸い込んでしまう機会は、仕事関係が最も多いです。

▶ 仕事で直接、石綿を吸ってしまう人

石綿鉱山、石綿製品製造工場、断熱作業などで直接石綿や石綿製品を製造・取り扱う人。

▶ 仕事で間接的に石綿を吸ってしまう人

石綿を取り扱う現場で作業し、造船業や車輛製造業などに従事していた人。

▶ それ以外で石綿を吸ってしまう人の例

- 石綿工場で働く家族の作業衣を洗濯する人。
- 空になった石綿袋で遊んでいた人。
- 家で石綿製品を使用して日曜大工を行った人。
- 石綿取扱い施設に立入った人。
- 家や職場などに吹き付け石綿が使用されていた人。
- 家や学校、職場などの近くに石綿鉱山や石綿工場などの石綿取扱い施設があった人。



平成 28 年度石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査（横浜市）報告書

平成 29 年 3 月 31 日

発注者 環境省総合環境政策局
 環境保健部企画課石綿健康被害対策室
 TEL : 03-3581-3351(内線 6389) FAX : 03-5510-0122
 E-mail ISHIWATA@env.go.jp

受託者 住所 横浜市中区港町 1 丁目 1 番地
 名称 横浜市